



【釧路市の基本理念】

釧路の風土で生まれ 未来を拓く 心豊かな人づくり

【教育目標「釧路市教育が目指す人間像」】

- ・ふるさと釧路を愛し 活力あるまちに奉仕する人づくり
- ・伝統と文化を大切にし 主体的に学びつづける人づくり
- ・進んで人とかわかり 豊かな心をはぐくむ人づくり
- ・自然に親しみ 健康でたくましく生きる人づくり

- ・釧路市まちづくり基本構想
- ・釧路市教育大綱
- ・釧路市教育行政方針
- ・釧路市教育推進基本計画

＜校訓＞

建 景 創 学 雲 造

【 景中校区「目指す大人像」 】

- ① **主体性**～常に**向上心**をもって、学び続けようとする大人
- ② **自主・自立**～自分の言動に責任をもち、**的確な判断**で自己決定できる大人
- ③ **協調性・多様性・柔軟性**～**自他ともに大切に**し、様々な違いを受容・尊重できる大人

○ 印は大切にしたいキーワード

目指す生徒の姿

- 1 気持ちの良いあいさつを大切にできる生徒
- 2 真剣に学習に取り組み、様々な活動に元気に挑むことができる生徒
- 3 仲間への思いやりと感謝の心をもって、自他ともに大切にできる生徒

学校教育目標

自ら学び、進んで行動できる生徒 (知)
 礼節を重んじ、思いやりのある生徒 (徳)
 健康な心身をもち、たくましく生きる生徒 (体)

目指す学校(教師)の姿

- 1 学年や分掌などの枠にとらわれず、相互の協力・協働体制ができる学校(教師)
- 2 学びに向かう集団づくりに全校で取り組める学校(教師)
- 3 生徒の状況や発達段階に応じた授業改善に積極的な学校(教師)

【 本年度の経営の重点(学校課題) 】

★『学びに向かう集団づくり』を中心に据えた教育活動の推進

- 1 学年学級経営・部活動経営・各種活動を中心とした、生徒指導を機能させた集団づくり
- 2 自他を大切にし、当たり前前を当たり前前のできる集団を意識させる日常の指導
- 3 適時適切な評価による自己有用感の醸成と心理的安全性が保たれる集団を目指した働きかけ

各領域の重点項目

(1) 学習指導・校内研修

- ① 生徒の発達段階や状況に合わせた、学習規律の定着と「生徒が主役の授業」への授業改善の推進。
- ② 学習意欲の喚起と持続、「釧路市がめざす授業」をもとにした課題解決型の校内研修の実施。
- ③ キャリア教育を軸とした「なりたい夢」(「総合的な学習の時間」)の展開と整理。
- ④ 家庭学習定着の工夫とサポートルームや長期休業学習会の充実化。
- ⑤ 想像力の伸長につながる読書活動の推進。

(2) 生徒指導

- ① 朝・帰りや授業前後などの挨拶を大切にする実践と落ち着いた生活やより良い人間関係の構築する取組の推進。
- ② いじめ対応や不登校傾向生徒への別室や外部機関との連携による組織的な対応の充実。
- ③ 問題行動発生時の「報告・連絡・相談」ルートの確認と徹底、全職員での協働した対応の実施。
- ④ アセス・Q-U・「担任への手紙」を活用した教育相談の充実。
- ⑤ 状況や発達段階に応じた共有した規律の徹底、委員会活動などの活発化による自律的な生徒の育成。

(3) 学年・学級等経営

- ① 係り活動や当番活動など、生徒一人一人の出番づくりと居場所づくりを大切にしたい指導の充実。
- ② 行事や日常の活動におけるリーダーを中心とした活動の充実と責任感や仲間への思いやりと感謝の心などへの適時適切な評価による自己有用感の醸成。

(4) 特別支援教育

- ① 生徒個々の特性やニーズに応じた教育活動の展開
- ② 通級指導におけるバランスの取れた「自立活動」「教科補充」の展開
- ③ 生徒理解・対応等に関する研修の充実

(5) 健康・安全指導

- ① 家庭を巻きこんでの基本的な生活習慣の確立(小・中ジョイントプロジェクト・パワーアップ週間の整理)
- ② 防災教育、ネットモラル教育、薬物乱用防止などを通しての「命の大切さ」の意識化

(6) 組織・学校力

- ① 個々の教師の持ち味や指導力を補完し合い、組織力・指導力の向上に努めるとともに、職員室が一丸となって生徒に対応する。
- ② DCAPサイクルの徹底、3学期を次年度の「0(ゼロ)学期」に位置付け、会議等の効率化、各種データの共有、校務支援システム・デジタル採点システムの適切な活用などを通して、実効性のある働き方改革を推進する。
- ③ 小・中ジョイントプロジェクトにおける校区2校の小中学校との連携をより一層深める。

景雲中学校区小中連携協議会をもとにした連携・協働

家庭・地域との連携・協働